

平成27年 3月11日  
国土交通省東北地方整備局  
磐城国道事務所

国道6号 常磐バイパス拡幅工事が一部完了！  
3月16日（月）に一部4車線で開通します！  
～泉町下川いづみまちしもがわから泉町滝尻いづみまちたきじりまで～

常磐バイパスは、昭和41年に事業着手し、平成12年の全線2車線開通を経て、順次4車線化の事業を進めております。

この度、泉町下川いづみまちしもがわから泉町滝尻いづみまちたきじりまでの1.3kmが4車線で開通します。

今回の開通により、常磐バイパス27.7kmのうち佐糠町碓田さぬかまちいかりだから平下荒川たいらしもあらかわまでの18.1kmが4車線で通行可能となります。

残る区間についても、平成29年度の全線開通に向けて引き続き工事を推進して参ります。

常磐バイパスの整備により、走行性・安全性が向上するとともに、観光活性化、物流効率化、企業活動支援等の効果が期待されています。

【開通日時】 平成27年3月16日（月） 15：00

【開通区間】 いわき市泉町下川～泉町滝尻地内（延長1.3km）

発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、  
福島建設工業新聞

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

TEL 0246-23-2211（代表）

副所長 千葉 富彦（内線204）

工務課長 岩渕 誠（内線411）

# 一般国道6号 常磐バイパス

じょうばん

常磐バイパス L=27.7km



今回の開通により4車線整備完了となる区間 L=18.1km

# 一般国道6号常磐バイパスの全線4車線化を推進①

## 走行性・安全性が向上するとともに、観光活性化による復興を支援

### 走行性の向上と交通事故の減少が期待されます。

- ボトルネックが解消され、走行性が向上します。
- 渋滞が主な要因となって起こる「追突事故」の減少が見込まれます。

#### 常磐バイパス (L=27.7km)



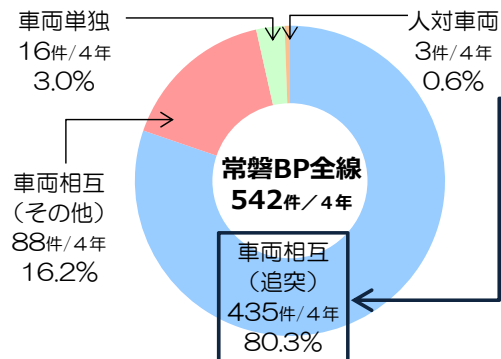
4車線化により走行性が向上

全線所要時間  
45分 → **33分** **約3割短縮**

#### ▲所要時間の変化

事故全体の約8割が渋滞に起因と思われる追突事故

渋滞に起因と思われる追突事故を中心に減少見込み



#### ▲交通事故の発生件数

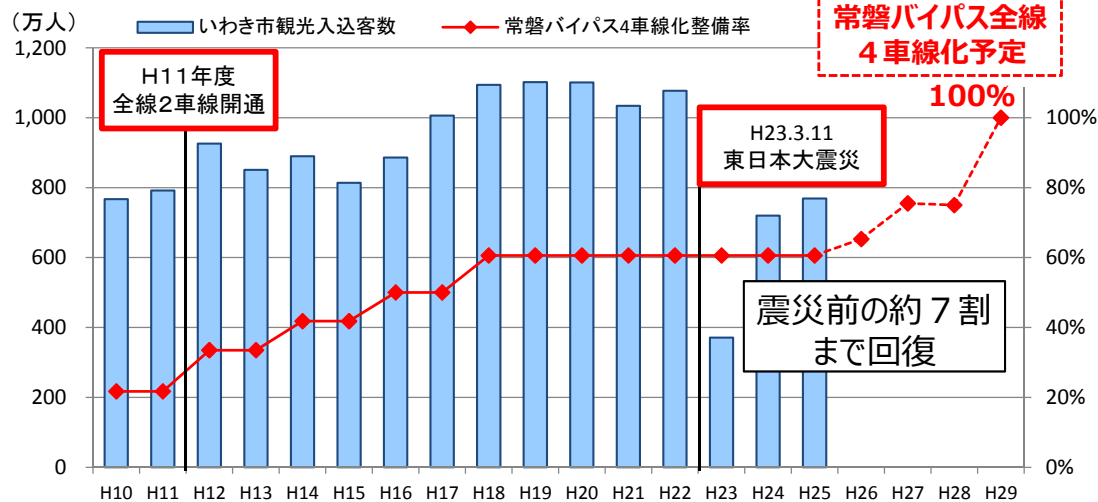
資料：イタルダデータ (H21~H24)

### 観光活性化等による復興を支援します。

- これまで常磐バイパスの4車線化整備とともに、いわき市の入込観光客も増加してきました。
- 全線4車線化により、観光活性化等による復興を支援します。



#### ▲いわき市の主要な観光施設



#### ▲いわき市入込観光客数の推移

資料：福島県観光入込客数

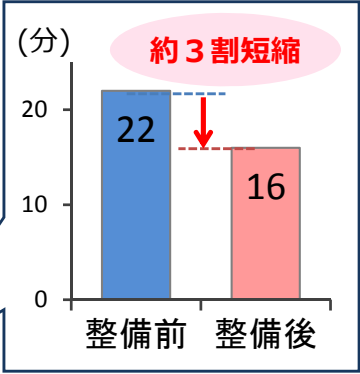
# 一般国道6号常磐バイパスの全線4車線化を推進②

## 港湾アクセスの向上により物流や企業活動を支援

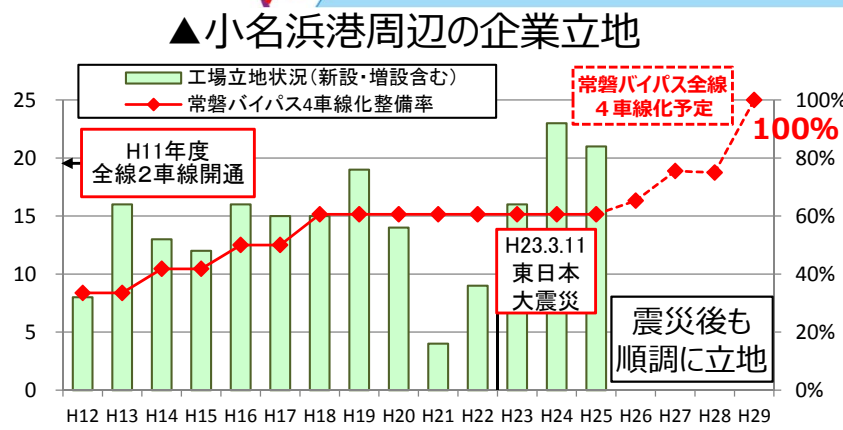
小名浜港へのアクセス向上による港湾関連の物流効率化や、沿線地域での企業活動を支援します。

○高速ICから小名浜港までの所要時間が短縮し、アクセスが便利になります。

◆ : 主要渋滞箇所  
 【工業団地増新設件数】  
 1 : H26増新設件数  
 1 : H25増新設件数  
 ※数字は件数



▲高速IC～小名浜港の所要時間  
 資料：民間プローブデータ



▲いわき市の工場増新設件数の推移  
 資料：「平成25年工場立地状況について」福島県商工労働部企業立地課

●小名浜港周辺整備による拠点性の向上

小名浜港 東港地区整備  
 (小名浜港国際物流ターミナル)  
 H30年度供用予定

取扱量増加の見込み

小名浜港背後地への  
 大規模商業施設の進出  
 H27年度一部供用予定

集客増加の見込み


港湾アクセスの向上により  
 小名浜港関連の物流効率化や  
 集客を支援

### 常磐バイパス4車線化への期待の声

- 救急搬送時の走行性や安定性の向上
- 業務効率化や通勤利便性の向上


### 常磐バイパスの4車線化について

- くも膜下出血で搬送の際に振動で出血し亡くなった事例があり、患者に振動を与えないように常に気を付けています。
- 4車線化された際には、**時間短縮に期待**しています。また、**絞り込みの混雑がなくなる**ので加減速が減ると思われるため、**振動の軽減にも期待**しています。  
 (いわき市消防本部の声)




### 今回の4車線化区間(宮ノ下～六枚内)について

- 小名浜港から勿来IC付近まで原料輸送で毎日ダンプトラック延べ200台以上を稼働しているため、**2車線区間の渋滞で回転率が落ちると余計なコストがかかります。**
- 4車線化によって**運行時間が短縮され業務の効率化に期待**しています。



- 通勤時間帯は朝夕共に渋滞しており、**渋滞を見込んで早めに出勤**しています。
- 渋滞がなくなることで、**追突事故のリスクも低くなる**と思います。  
 (沿線企業の声)



資料：H27.2ヒアリング調査